

笑顔

第46号

令和3年4月

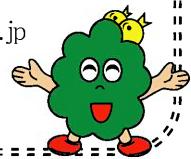
熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山

熊本県中央区保田窪1丁目 1-33 第2大田ビル1階

電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232

E-mail:sasaeriaobiyama@kyouninkai.jp

<http://www.kyouninkai.jp/obiyama/>



みなさん、“こんにちは！”なかには「初めまして」の方もいらっしゃると思います。地域の皆様方には、常日頃からささえりあ帯山の事業等にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。また、大変感謝しております。この度、前センター長 那須久史の後任として、高齢者支援センターささえりあ帯山の管理者を引き継ぐことになりました、芹川 真寿美(せりかわ ますみ)と申します。当センターに勤務して8年が経過し、日々学びながら皆様とともに過ごしてきた8年であったと振り返っておりました。

まだまだ、未熟な私ですが、これまで同様、地域の皆様が住み慣れた地域で、自立した生活を続けられますように、“地域で支え合う仕組みづくり”的協力ができればと思っています。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。ささえりあ帯山職員一同、笑顔を忘れず、地域の皆様と一緒に支え合いながら一歩ずつ歩んでいきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

日々、笑顔！
日々、感謝！



Come Back!



4月から育休から復帰し、ささえりあに戻つてきました、守田香菜です。
初めての子育てで、日々育児に追われています
が、娘の成長を見守るのが楽しみです。1年間の
休みもあり皆様に「迷惑をおかけする事もある
かと思いますが、仕事も育児も楽しみながら頑
張りたいと思います。宜しくお願ひします。

～お互いさまのまちづくり研修会～



令和3年3月12日（金）、中央区6つのささえりあ全体で、お互いさまのまちづくり研修会が行われました。内容は、コロナ禍におけるお互いさまのまちづくりの実践事例の取り組み紹介でした。各ささえりあより1名ずつ発表して頂き、ささえりあ帯山からは、帯山西校区社会福祉協議会鈴木会長より、役員会をオンラインを導入して行った取り組みを発表して頂きました。コロナ禍でも、柔軟に対応して活動を継続されている姿勢に感銘を受けました。開催方法はZOOMによるWEB参加のみでしたが、ささえりあ帯山の3校区からは約20名の参加、中央区全体での参加者は100名と大変多くご参加いただきました。コロナ禍で活動の制限が続きますが、形を変えてでも継続する取り組みと、オンラインへの興味関心の高さを知れたことは大変勉強になりました。地域の皆様と一緒にコロナ禍を乗り越えていく活力を頂きました！



被災者健康支援事業

～各校区色とりどり～

熊本地震から5年、月日が経つのは早いものですね。熊本地震で転居を余儀なくされた方、自宅を取り壊し新しい生活を始めた方、様々な形があったと思います。今回熊本地震から5年経ち、帯山中学校校区へ転入された65歳以上の方を主な対象に、地域で安心して暮らせるための一つの取り組みとして、“被災者健康支援事業”を開催しました。開催にあたっては各校区の社協長、民児協会長と協議を重ね、民生委員さん方の協力を沢山頂き、無事に開催する事が出来ました。

託麻原校区

令和3年3月8日（金）水前寺共済会館グレーシアで開催しました。当日は健康相談教室を実施し、体組成計を活用した健康チェックを行いました。熊本市総務企画課による防災ブースでは、改めて“災害の備え”を振り返りました。また、託麻原校区社会福祉協議会主催「高齢者の集い」も同時開催され、津軽三味線奏者の本田浩平様の講演がありました。皆様お元気に参加され笑顔が見られました。人と出会う、話をするなどの社会参加はとても大切な事だと感じました。



令和3年3月20日（土）に帯山小学校体育館で開催しました。感染対策に配慮しながら総勢139名の方にご参加を頂きました。落語、防災ブース、輪投げ、健康相談の4つのブースに分かれ各ブース笑顔が溢れていきました。特に「つばなれの会」の落語は、プロ顔負けの話術で、会場が大盛り上がりでした。多くの方から「久し振りにみんなで集まった」「地域に活気が戻った」等の声が聞かれ嬉しく思いました。

帯山校区



令和3年3月27日に帯西コミュセンで開催されました。当日はくまもと在宅クリニックの阿部真也先生に「在宅医療」についての講話を、事例を踏まえながら話して頂きました。最期の時をどう過ごしていきたいのか、講話を聞きながら自宅で祖母を見取った母の思いを重ね、胸が熱くなりました。講話の後は、前センター長の那須より、ストレッチを行い皆で体を動かしました。「楽しかった」と帰っていかれる地域の皆さんその後ろ姿に、集まれる事の幸せを感じました。

帯山西校区

